

感染状況・医療提供体制の分析(5月17日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月~日)の合計	前回の数値 (5月10日公表) 4月29日~5月5日	現在の数値 (5月17日公表) 5月6日~5月12日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	204人	193人	↓	<p>感染状況コメント</p> <p>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</p> <p>定点当たり患者報告数は2.30人と変わらず。インフルエンザ患者数は減少(定点当0.26人)。但し、RSウイルス感染症は増加傾向で、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年に比べ多い。</p> <p>全国的にも岡山でも新型コロナ感染は減少傾向も、感染者は継続的に発生。5類移行し、1年が経過したが、今後も夏や冬などの人流の多い時期は流行が予想される。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。</p> <p>医療機関への入院も減少も、重症者は発生しており、注意が必要。薬代などの公費負担は4月から撤廃されたが、ハイリスク患者の早期診断・治療は必要。</p>
	定点当たり数	2.43人	2.30人	↓		
	報告数に占める60歳以上の割合	37.3%	25.9%	↓		
	岡山市保健所	0.68人	0.82人	→		
	倉敷市保健所	4.44人	3.06人	↓		
	備前保健所	1.80人	1.60人	→		
	備中保健所	3.58人	3.08人	→		
	備北保健所	2.83人	5.83人	↑		
入院状況	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	真庭保健所	4.67人	4.00人	→	
	美作保健所	1.70人	1.80人	→		
	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	15人	10人	↓		
	④ 人口呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	0人	2人	↑		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。